



あおば通信

平成29年/2月/日 第47号

発行 八戸あおば高等学院

☎031-0081 八戸市柏崎二丁目7-1/4 ☎0178-22-3470

役割を理解し行動する - 文化祭を終えて -



11月3日、開校以来第2回目となる文化祭を終えることが出来ました。天候もよく、たくさんの方にご来場いただきました。

文化祭の準備で欠かせないものがイベント用テントの組み立てです。文化祭の前日に一度テントを立てて、立て方を覚え、当日の朝に再度立てるという作業。昔と違ってテントの脚が軽量化されたものの、重労働です。

ご存じの通り、テントの組み立てはお互いの協力がないと成り立ちません。学院のテントには脚が6つあるので、最低6人ないとテントを立てることが出来ない。その6人が一緒に行動しないと、それまで組んだ骨組みがバラバラになったり、時には怪我をすることもあります。また、調理担当の生徒が開店時間までに販売できるように準備をするので、全員の集合時間よりだいぶ早く登校しなければなりません。

準備はテントだけではありません。今回の文化祭ではゲームコーナーでの段ボールを使った工作や授業で作った作品の掲示、屋台での食材の仕込み、ポスターの原画や会場案内の作成、屋外での車の誘導、受付で配った渋柿の収穫、夫々自分の役割を理解し、声を掛け合い、次の作業の人に上手くつなげる流れを作ったり、協力して作業する姿が多く見られました。

文化祭は全員が全員表舞台に立てるわけではありません。よく演劇にたとえられるのですが、演劇には、主役があり、脇役があり、裏方や観客もいる。そこで各人がその役割を果たさなければ演劇そのものが成り立たない。学院の行事も同様です。こういう役割をやりたいという希望を持ち、叶うならばとても良いことです。しかし、もっと大切なことは、今、自分に与えられている役割に、最善を尽くしてあたることです。

そういう意味では、多くのお客様が喜んで帰られたのと、終わった後、生徒たちが疲労感はあるものの、すがすがしい顔をしていたのを見て、本当によかったと思いました。

文化祭実施にあたり、ご協力いただきました保護者の皆さま、近隣住民の皆さま、そしてご来場くださった皆さまをはじめ、お心を寄せてくださった多くの皆さまに感謝し、生徒たちの頑張りをたたえたいと思います。

<生徒の感想から>

- ・あつという間に終わった文化祭は疲労と余韻を残すとともに、焼きそばのおいも残していきました。臨機応変な大人たちの前では事前に話し合った作戦は通用しませんでした。もっと綿密な作戦を立てるべきだったというのが今回の反省点ですが、皆でいろんな困難を突破でき、力を合わせる大切さを改めて知りました。普段接することのない他の生徒たちとも、少しでも話せたこと、関わりを持てたことは、これからの学校生活の自信にもつながると思います。 【T.U(1年・三本木高校付属中卒)】
- ・文化祭は、とても楽しく、和気藹々としてとてもよかった。普段あまり関わらない人たちとも交流が出来嬉しかった。一から大きなイベントに向けて、皆で団結して一つのことを成し遂げることがとてもためになることがたくさん学べてよかったです。 【H.M(2年・根城中卒)】
- ・今回、初めての文化祭でしたが、全員で協力してとてもいいものになったと思います。自分は受付や駐車場係をやっていましたが、来る人皆が笑顔で来てくれて、こちらもとても幸せになりました。全体的にもとても盛り上がっていて、とてもいい雰囲気の中で出来たと思います。とても楽しい文化祭で、マジで最高でした。 【R.T(3年・根城中卒)】



山脇直司先生(星槎大学副学長・八戸大使) 出版を祝う会が行われました



10月28日(土)に本学院の提携先であります星槎大学副学長の山脇直司先生(八戸市出身・東京大学名誉教授 公共哲学)の新著「私の知的遍歴-哲学・時代・創見」の出版記念講演会と記念パーティが八戸市内のホテルで行われました。

講演会には約150名が、祝賀会には約90名の方が参加されました。著書は八戸市内を始め全国の書店で販売されております。

<平成30年度入学生(現・中3生)募集中です。転編入生も随時受け入れます。詳細はお問い合わせください>

収穫体験・ツカハラミュージアム見学



11月9日(木)に南部町で自然農法により農業を営んでいる「むがし農園」(佐々木貴子園主)の畑にお邪魔し、収穫体験を行いました。当日は、6月に職業講話の講師を依頼した「池田介護研究所」(池田右文代表取締役)のデイサービスの利用者と一緒で大根の収穫。終了後はツカハラミュージアムに移動し、クラシックカーの見学を行いました。

<生徒の感想から>

- ・南部町のむがし農園で大根の収穫を行いました。大根は反時計回りで引くと採れやすくなるとアドバイスを頂き、多くの大根を収穫することが出来ました。ツカハラミュージアムでは歴史ある名車が展示されていました。自動車の歴史が身近に感じました。【K.S(3年・金田一中卒)】
- ・収穫体験では大根掘りをしました。初体験だったけど思ったより簡単に抜けて楽しかったです。ツカハラミュージアムで特に印象に残ったのが2000GTでした。希少性が高く見た目もカッコ良かったです。【R.I(2年・下長中卒)】



^^*^*^*^*^* **あおば TOPIC 学院** *^*^*^*^*^*^*



11月11日と18日の総合学習では元大手旅行業者の添乗員で現在は旅行業社を運営する外和信哉さんを

講師に迎え、「八戸のまち歩き」を行いました。ふだん見慣れたまちですが、案外知らないことが多く、かかれた物語やモノが数多くあります。まちの「ここが素敵」、「これは珍しい」、「これはみんなに教えてあげたい」といった気づきを記録し、まとめました。

現職の先生方を対象にした「教員免許状更新講習」が11月5日・25日・26日に本学院を会場に実施されました。

講習は教育職員免許法の改正により、教員として必要な資質能力が保持されることを目的に行われるもので、本学院では星槎大学の教員による講習が合計30時間(必修6時間、選択必修6時間、選択18時間)行われました(講習は次年度以降も開催します)。



11月15日に十和田市中地区民生委員児童委員協議会の方々17名が学院の見学に来られました。類家順子副理事長の挨拶に続き、学院の紹介と子どもたちを取り巻く環境と具体的な対応の仕方について説明しました。

その他に「フードドライブ」や「ふれ愛・あおば食堂」の取り組みなど、目に見えないものの身近な問題でもあり、興味深く聴講されていました。



あおばの会からのお知らせ

◎ふれ愛・あおば食堂

12月～2月 毎月第1土曜 12時～15時

ひとりでごはんを食べることが多い方を対象に、第1土曜に「ふれ愛・あおば食堂」を行っています。ふれ愛・あおば食堂は「みんなでごはんを作って食べ(後片付けも自分たちで行います)、勉強したり、遊んだりする仲間作りの場」です。食糧品の提供もお待ちしております。(次回は12月2日です。ピビンバとクレープを作ります)



◎フリースペースあおば

火曜～金曜 13時～17時

フリースペースでは、家から出て通うことから始めます。それから子どもたちのニーズに応じたサポートを行います。地域の皆さまや八戸あおば高等学院に通う生徒たちとの交流を行いながら、人や社会との関わりを身につけます。「学校以外に子どもたちが輝く場所」。そんな場所になれたらと考えています。

あおばの会では活動に賛同して下さる方を募集中です。☎0178-22-3470(事務局)

今後の主な行事予定(12月・1月)

- 12月 2日 ふれ愛・あおば食堂
- 5日・12日 カウンセラーによる教育相談日
- 9日 オープンキャンパス
- 16日 3年生レポート提出期限
- 22日 全体スクーリング(13時までに登校)
- 26日～平成30年1月6日 冬休み・補習授業(該当者)
- 1月 6日 ふれ愛・あおば食堂
- 9日 全体スクーリング(13時までに登校)
- 13日 オープンキャンパス
- 16日・30日 カウンセラーによる教育相談日
- 20～27日 科目別スクーリング・卒業試験
- 27日 1・2年生レポート提出期限
- 30日 保護者会「あおばの会」

教育相談 坂本先生:12/5,1/16 小野寺先生:12/12,1/30



今年ももうすぐ終わります。冬休みには、今年1年を振り返り来年の目標を立てましょう。体調を崩さぬよう、よいお年をお迎えください!